



研究・開発のための 電気化学測定

— 次世代電池開発に役立つ解析・評価技術 —

と き：2018年11月6日(火) 午後1時00分～午後5時30分

と ころ：東京理科大学 森戸記念館 第1フォーラム
(東京都新宿区神楽坂4-2-2)

電気化学及び電池材料・技術に関係した研究・開発に取り組まれている方々を対象に、研究・開発に役立つ電気化学測定などの解析・評価技術に関するセミナーを開催します。

本セミナーは、次世代電池開発にフォーカスし、電極活物質の解析・評価から全固体電池の作製、開発のための解析・評価技術と最新分析評価技術のテーマからなるセミナーです。

全講演終了後に、講演者参加の「質問・相談コーナー」を設けます。

多数の方々のご参加をお待ち申し上げます。

◎開会の挨拶

(13:00～13:05)

1. リチウムインサージョン材料の解析と評価の実際

(13:05～14:15)

リチウム電池用の正極材料であるリチウムインサージョン材料について、固体化学的な手法を用いた各種測定法を実際に適用した例を最新の研究成果を踏まえて紹介する。

横浜国立大学 藪内直明

2. 全固体電池の作製と解析・評価技術

(14:15～15:25)

全固体電池の実現に向けて、電池構成部材の導電率や機械的特性の評価はもちろんのこと、汎用性に優れた液相法を利用した電極-電解質界面構築プロセスの開発が重要となる。電池を充放電させた際の電極層内で生じる構造・微細組織の変化は電池特性に直結するため、それらの評価手法の確立も望まれている。

大阪府立大学 林 晃敏

本発表では、全固体電池の界面構築手法が電池特性に与える影響について概説し、様々な分光法を用いた電極層内の構造解析や反応分布評価についても紹介する。

3. 全固体電池 設計・開発のための最新分析評価技術

(15:40～16:50)

全固体電池の本格的普及に向け、特性向上及び安全性、耐久性の確保など、様々な課題を解決する必要がある。現行の電解液系リチウムイオン電池とは異なり、固体電解質の材料物性値など、新たな評価技術への取り組みは今後重要になると考えられている。

東レリサーチ 藤田 学

本講演では、全固体電池の設計・開発において、「材料」、「作製プロセス」、「安全性」に有効な最新の分析評価技術について事例も交え紹介する。

4. 質問・相談コーナー

(17:00～17:30)

主催 電気化学会

協賛 高分子学会、自動車技術会、電池工業会、電気学会、日本化学会、
日本分析化学会、腐食防食学会、表面技術協会

参加申込方法

- 【定員】** 100名(定員に達し次第締切)先着順
- 【参加申込締切】** 2018年10月23日(火)
- 【参加費】** 個人会員 8,000円、法人会員 12,000円、非会員 20,000円
学生会員 3,000円、非会員学生 7,000円
※参加費はいずれも税込
※協賛学会会員は本会会員と同等の条件で参加可能です。
該当する会員資格を選択してお申込みください。(備考欄に所属学会を明記してください)。
- 【参加申込方法】** 電気化学セミナーのホームページ(下記URL)よりお申し込みください。
(<http://www.electrochem.jp/promotion/index.html>)
氏名、所属先、連絡先住所(〒、TEL、FAX)の入力、会員資格(個人、法人、学生など)を入力の上、参加費振込予定日を明記し、お申し込みください。
- 【備考】** ※本会個人会員はマイページからもお申込みいただけます。
マイページへログイン後、「大会・イベント」から該当するイベントを選択ください。
※銀行振込の際にも参加者の情報等をご連絡願います。
※セミナー当日の現金でのお支払いはご遠慮願います。
- 【個人情報の取扱い】** ○皆様からお預かりした個人情報は、本会からのご案内やご質問に対する回答として、電子メールや資料のご送付にのみ利用いたします。
○本会は、皆様よりお預かりした個人情報を適切に管理し、許諾なく個人情報を第三者に開示いたしません。
○本会は、保有する個人情報に関して適用される日本の法令、その他規範を遵守致します。

問い合わせ先：〒101-0065 東京都千代田区西神田3-1-6 日本弘道会ビル7階
電気化学会セミナー係

(TEL：03-3234-4213、FAX：03-3234-3599、

E-mail：ecs@electrochem.jp)

振込先：三菱UFJ銀行市ヶ谷支店(普)0939526、公益社団法人 電気化学会